

輸送動向について(3月分)

平成20年4月

1. 輸送概況

今月は、中旬に湖西線での強風による輸送障害が発生したが、高速貨2本の運休のみで、月全体を通して大きな輸送障害もなく、安定した輸送状況で推移した。

荷動きは、下旬に入り、年度末需要の盛り上がりがあったものの、平日稼働日が少なかったほか、暫定税率の期限切れを見越し、石油の出荷が大きく落ち込んだこともあり、全般的には低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物は、自動車部品、農産品・青果物、紙・パルプなどが前年を上回ったものの、食料工業品、化学工業品、化学薬品などが前年を下回り、全体では前年比99.7%となった。農産品・青果物は、北海道地区の玉葱・馬鈴薯の出荷が強勢であった。一方、食料工業品は、ビールの価格改定後の出荷調整等により減送となった。

車扱貨物は、石灰石が前年を上回ったものの、石油、セメントなどが前年を下回り、全体では前年比88.8%となった。とくに、石油は暫定税率の期限切れを見越した買い控えにより、揮発油・軽油を中心に、下旬に入り大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,169	2,176	99.7%	23,417	23,184	101.0%
車 扱	1,116	1,257	88.8%	12,781	13,432	95.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	204	199	5	102.5%
	化学工業品	199	206	-7	96.6%
	化学薬品	148	155	-7	95.5%
	食料工業品	288	297	-9	97.0%
	紙・パルプ	340	337	3	100.9%
	他工業品	160	155	5	103.2%
	積合せ貨物	235	236	-1	99.6%
	自動車部品	82	70	12	117.1%
	家電・情報機器	38	39	-1	97.4%
	エコ関連物資	33	33	0	100.0%
	その他	442	449	-7	98.4%
	コンテナ計	2,169	2,176	-7	99.7%
車 扱	石 油	732	846	-114	86.5%
	セ メ ン ト	66	88	-22	74.9%
	石 灰 石	74	33	41	224.4%
	車 両	125	143	-18	87.2%
	そ の 他	119	147	-28	81.0%
	車 扱 計	1,116	1,257	-141	88.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)